

BADUI 診療所

・カルテ2 トイレのサインさんたち・

ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日は妙に待合室が賑わっているようですよ。何があったのでしょうか…

Dr. N 「最初の方どうぞ～。さて、どうされました？」

患者 A 「私は男性トイレのドアの前に取り付けられたサインです（図1）。男の人に使って欲しいのに、僕を見た瞬間みんな帰ってしまいます」



図1 男性トイレのサイン（※赤色です）

Dr. N 「どれどれ、なるほど。ちなみに、女性が間違っって入って来たりしませんか？」

患者 A 「そうです。何故わかったんですか？」

Dr. N 「調査によると日本人には、男性の色は青系、女性の色は赤系とのイメージがあるようです*1。そのため、このマークを見た男性は女性用と勘違いして帰ってしまい、逆に女性が間違えて入ってくるのだと思います。」

患者 A 「なるほど。では青色に変えるべきですか？」

Dr. N 「日本の場合はそうした方がいいかもしれませんが。なお、文化によって色に対するイメージは異なります。ヨーロッパの場合は両方を黒色に揃えるか、男性を黒に、女性を赤にすることが多いようです。中国では以前は日本とは逆に、赤色を男性に、緑色を女性に使っていたケースもあったようですが、現在は両方黒色か、青または黒を男性、赤を女性に使うことが多いようです。とはいえ、色だけで識別するのは、色覚障害の方の問題などもあり、あまり勧められません」

患者 A 「なるほど。ありがとうございます。ちなみに色覚障害の方も考慮するには色はどうしたらよいですか？」

Dr. N 「色覚障害にも色々なタイプがありますが、一般に明度や彩度が一定で、色相だけが異なる場合に区別が付き難いです。たとえば男性用を青か水色、女性用をオレンジにして、背景を白くすれば、比較的区別が付きやすいと思います。カルテ書いておきますね」

患者 A 「ありがとうございます」

Dr. N 「さて、次の方どうぞ。どうされました？」

患者 B&C 「私達は有名デザイナーの〇×さんに設計されたファッションビルのトイレのサインです（図2）。利用者が何故かトイレの前でモジモジしています」

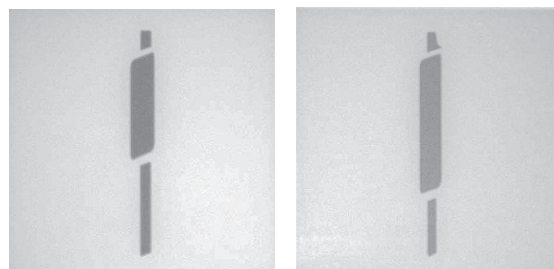


図2 おしゃれなトイレのサイン

Dr. N 「どれどれ診せてください。うーん、これは男女を識別しにくいですね（デザイナーなら見てくれただけでなく、使い勝手も考えて欲しいなあ・・・）」

患者 B&C 「えっ？でも、〇×さんがトータルデザインしたものなんですよ？お洒落じゃないですか？」

Dr. N 「ええおしゃれですね。でも、これは焦ってトイレを使おうとしている人が一目で識別できるでしょうか？」

患者 B&C 「うーん、そう言われるとそうですねえ」

Dr. N 「法律で規定こそされてはいませんが、不特定多数が利用する公共建築物などでは、わかりやすいサインを用いるべきです。例えば JIS*2などを参考に、使う人のことを考えておしゃれは程々にしてくださいね」

患者 B&C 「はい。ありがとうございます」

Dr. N 「さて、お次の方～」

患者 D&E 「私たちはドイツからやって来たトイレのサインです！みんなサインの前で悩ましい顔をして、特に日本人旅行者が間違っった方に入っていきます（図3）」



図3 ドイツ空港のトイレのサイン

Dr. N 「うーん。ちなみに、DとHは何の略ですか？」
 患者 D&E 「もちろんDはダーメン (Damen)、Hはヘレン (Herren) に決まっています！」
 Dr. N 「ダーメンにヘレンですか。ドイツ語は知らないんですよねえ。音象徴から想像すると、ダーメンよりヘレンの方が柔らかいのでDが男性でHが女性ですか？」
 患者 D&E 「違います！Dが女性でHが男性です！」
 Dr. N 「そうでしたか。私も間違っただけです。ちなみにどちらにあるのですか？」
 患者 D&E 「国際空港です！ドイツらしくて良いでしょう？」
 Dr. N 「そうですか。言語を用いたサインは、その国に住んでいる人しか利用しない施設ならともかく、空港のように海外からの旅行者が多く利用するような場所では、意味を理解できない人も多いです。例えば英語圏の利用者が多いのであれば英語を併記するなど多言語化を図る、あるいは言語によらず識別可能なピクトグラムを提示した方が良いでしょうね」
 患者 D&E 「そうでしたか。ありがとうございます」
 Dr. N 「はい、お大事に」

Dr. N 「うーん。単なるトイレのサインと言えども、言語や文化、あるいは障害の有無にかかわらず、誰もが一瞬で理解可能なものを作るのは難しいなあ。何か良いアイデアは無いものだろうか…」

(どたばたと駆け込んでくるトイレのサイン)

Dr. N 「おや、あなたたちは確かドイツの空港の・・・」
 患者 D&E 「見てください！ついに言語によらず理解できる究極のサインができました！（図4）」
 Dr. N 「・・・」

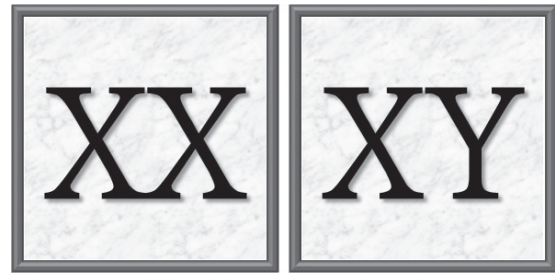


図4 究極のサイン！？

「究極のトイレのサイン」を募集します。誰もが一瞬で理解可能なトイレのサインを思いついた方は、<http://badui.org/> の特設ページに投稿ください。投票と結果発表も上記ページで行います。なお、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方も、<http://badui.org/> にご一報ください。



担当医：Dr. ナカムラ

BADUI 蒐集家。

日々新たなBADUIとの出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。捕獲した貴重な品々は「楽しいBADUIの世界」<http://badui.org/>にて公開中。

Dr. トモクフのUIトリビア

- *1 千々岩英彰著『図解世界の色彩感情事典—世界初の色彩認知の調査と分析』によると、日本人の男性に対するイメージカラーの1位は薄い青紫、女性に対するイメージカラーの1位はごく薄い赤紫（ピンクに近い）なのだ！
- *2 標準的なトイレのピクトサインは JIS Z8210 (案内用図記号) に掲載されておる。ちなみに色は規定されておらず、安全色（特定の赤・青・黄・緑）以外であれば変更可能じゃ。でもやり過ぎは禁物だぞ！

診療カルテ		2012.6.11
ID	BADUI-002	トイレのサインさん達が一斉に
氏名	トイレのサイン症候群	<ul style="list-style-type: none"> ○トイレの前で"モジモジ" ○トイレの前まで来り帰る(はく) ○間違っただけに入ってしまう →サインに1分遅延アリ?
原因・主要症状・経過など	トイレの前で利用者が悩ましい顔をして。間違っただけに入ってしまう。 (1) 色：男性向けには赤色 (2) マーク：おしゃべりマークの識別が難しい (3) 文字：国際的な場でローカル言語(D/H)のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・男性向けの赤色(文化の差) ・色に好むイメージを考慮せず) ・おしゃべりサイン(おしゃべりマークで識別困難) ・国際的な場でD/Hというローカル表示のみ ・使う人の事を考え、サインを少しづつ以後様子を見る ※究極のサインはないか??
処方・手術・処置など	(1) 色：文化のイメージにあわせて色の利用を! 色の差を考慮!! (2) マーク：公共の施設ではJISマークを参考に「おしゃべりマーク」に!! (3) 文字：国際的な場では他言語を併記可能なマークを!!	ローカル表示のみ ・使う人の事を考え、サインを少しづつ以後様子を見る ※究極のサインはないか?? 中本 邦史 (京都大学)